

畿央大学現代教育研究所 主催

学びを結ぶワークショップ

●内容紹介

[ワークショップ1]: 全校園教諭・教員、福祉関係者、保護者対象

「ポジティブな行動支援で発達障害のある子供とその家族を支える－家族の多様性に応えるための科学的実践－」

担当: Joseph Lucyshyn 博士 (カナダ ブリティッシュコロンビア大学 教育学部 准教授) 大久保 賢一 (教育学部 准教授)

行動問題を示す発達障害のある子どもとその家族の支援について考えます。最新の科学的知見に基づいた「予防的」、「教育的」、「叱る必要がなくなる」ポジティブな行動支援について、国際的に第1線で活躍されている「ジョー先生」と一緒に学びましょう。さらに、様々な状況に置かれ、様々な事情を抱えておられるご家族の「多様性」にいかに応えるかということについても検討していきます。資料は全て日本語訳しており、同時通訳もあるので安心してご参加ください。

[ワークショップ2]: 小・中学校教諭・教員対象

「運動学習と学習意欲からアプローチする楽しい体育の授業づくり」

担当: 辰巳 智則 (教育学部 准教授)

体育科で「楽しさ」が主題となる場合は二つあります。一つは、学習内容・教材を工夫し選択する方向目標として、「素材となる運動の楽しさ」をどう設定するかにあります。もう一つは、学習意欲を育むために、子ども側の「内実としての楽しさ」を単元や一単位時間の学習過程にどう吸収させていくかにあります。どのような質の楽しさを楽しむことが子どもの学習意欲を高め、学習連鎖を生み出すのか？輪投げを楽しみながら、一緒に考えます。

[ワークショップ3] (全校園種教諭・教員対象)

「見て、ふれて、考える、インクルーシブ教育の視点からの図工の授業」

担当: 西尾 正寛 (教育学部 教授)

多くの学校の図工の時間では、支援学級にいる友人が戻ってきます。児童が自らの感覚や活動を通して形や色を捉えることを大切にする活動では、多様なイメージが現れ、それぞれを実現する材料や方法について、個々の児童の発想や構想を受け止め、時には相談し、実現できるようにすることが先生の指導になります。そのような学習過程を、子供たちの多様なニーズに対応するインクルーシブ教育の発想から見直し、多様な児童が通常学級で共に学び合える図工の授業づくりを考えましょう。

[昼食交流会]

R棟1階食堂にて、軽食を準備いたします。食事しながら、日頃の教育に関する話題を交流しましょう。

【申 込 票】

ご参加を希望されるワークショップの にチェックをしてください。

ワークショップ1 P棟3階 P301 講義室	10:00～15:30 ※昼休憩 12:10～13:30	
	<input type="checkbox"/>	
	ワークショップ1は2限を通して行います。2,3との組み合わせは選べません。	
ワークショップ2 P棟2階 P203 講義室	午前の部 10:00～12:00	午後の部 13:30～15:30
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	※午前の部と午後の部は同一内容です。	
ワークショップ3 P棟2階 P204 講義室	午前の部 10:00～12:00	午後の部 13:30～15:30
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	※午前の部と午後の部は同一内容です。	
昼食交流会 R棟 食堂2	12:10～13:20	
	<input type="checkbox"/>	

※お申込み状況によりご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

※ワークショップ2と3を午前と午後で選択いただいた場合、順番を入れ替えさせていただきます可能性がございますので、ご了承ください。

ふりがな		勤務先 所属 (※任意)
氏名		
連絡先住所	〒 —	
電話番号		
E-mail		

[申し込み方法]

上記必要事項を明記の上、FAXまたはメールにてお送りください。 [FAX : 0745-54-1600 E-mail : rime@kio.ac.jp]

※なお、個人情報については、本ワークショップ以外には使用いたしません。

※満員によりご参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします。連絡がない場合は、ご参加いただけますので、当日、受付へおこしください。